

第3卷 近代・現代編 目次

第1編 近代

第1章 明治前期の神埼地域〔明治維新前後～明治22年（1889）頃〕

第1節 近代神埼地域の出発

- 1 佐賀県の成立と神埼地域
- 2 佐賀の乱と神埼地域
- 3 佐賀県政の再建と神埼地域
- 4 自由民権運動と神埼地域
- 5 地方三新法と神埼地域
- 6 佐賀県の分離独立・17年改正・国会選挙
- 7 市制・町村制施行
- 8 憲法・議会・選挙
- 9 神埼町の成立

第2節 明治前期の産業経済 伝統産業と産業基盤の整備

- 1 製麺業
- 2 倉谷葛・三谷神・尾崎焼など、特産の伝統産品
- 3 郵便局の開設

第3節 明治前期の農業

- 神埼の特産品
- 小麦粉製造
- 蘆栽培・製蠟
- 茶

第4節 明治前期の教育

第1項 明治前期の学校教育

- 1 廃藩置県と地方教育行政の形成
- 2 廃藩置県と「学制」
- 3 明治初期の教育

第2項 明治前期の社会教育

- 1 幕末期から学制発布へ
- 2 通俗教育の胎動と青年会

第2章 明治中・後期の神埼地域〔明治22年（1889）～明治45年（1912）年頃〕

第1節 近代神埼とアジア・シベリア

- 1 神埼圓楽寺多聞速明とシベリア布教
- 2 ウラジオストック西本願寺と清水松月
- 3 満州・シベリア邦人社会と神埼
- 4 佐賀藩の对外策と内田伊七らの厚岸開拓
- 5 副島種臣の樺太買収論と対露政策
- 6 大正期「北守南進」をめぐる論争

第2節 明治中・後期の産業経済 商工業と産業基盤の整備

- 1 原岡佐太郎の精蠶事業
- 2 神埼駅開業
- 3 広滝水力発電所
- 4 道路

第3節 明治中・後期の農業

- 1 勸業談話会と老農志波六郎助
- 2 仁比山村農事試験場と伊丹家試験田
- 3 農会の成立と事業
- 4 模範農区
- 5 害虫駆除の取組み
- 6 耕地整理事業の進展
- 7 産業組合の設立

第4節 明治中・後期の教育

第1項 明治中・後期の学校教育

- 1 町村の成立と義務教育
- 2 国民教育の確立
- 3 実業補習学校の設立

第2項 明治中・後期の社会教育

- 1 「小学校後」教育の模索
- 2 実業補習教育と夜学会の動向
- 3 青年団の結成
- 4 女子教育・婦人教育の胎動
- 5 教育会の組織化と通俗教育
- 6 図書館の胎動

第3章 大正期の神埼地域 (大正元年(1912)～大正15年(1926)頃)

第1節 大正期の産業経済 商工業と産業基盤の整備

- 1 神埼実業銀行経営と破綻
- 2 肥筑軌道
- 3 煉瓦製造

第2節 大正期の農業

- 1 地主的土地所有の進展
- 2 農家副業の発展
- 3 電気灌漑の導入

第3節 大正期の教育

第1項 大正期の学校教育

1 大正デモクラシー

第2項 大正期の社会教育

1 明治末から大正初期の社会教育の現況

3 教育会による通俗講演会の実施

5 女子青年会（処女会）の組織化

8 社会教育行政の整備と社会教育主事の配置

2 大正時代の教育

2 実業補習学校の普及・整備

4 青年団の国家的組織化

6 図書館の動き

9 戦後民力涵養運動

7 婦人会の動き

第4章 昭和前期・戦時下の神埼地域〔昭和元年（1926）～昭和20年（1945）頃〕

第1節 昭和前期・戦時下の神埼地域の政治・社会

第1項 戦時下の暮らし

1 日中全面戦争前夜の神埼

4 大日本翼賛壮年団の結成

7 根こそぎ動員

10 「産めよ殖やせよ」

13 前線と銃後をつなぐ

2 「挙国一致」へ

5 翼賛選挙

8 女性への過重負担

11 「軍国の母」

14 村の戦死者

3 大政翼賛会の成立

6 大日本翼賛壮年団の活動

9 母子保健問題への関心

12 戦意高揚と物資不足

第2項 昭和恐慌期の社会

1 奨励された海外移民

第2節 戦時体制下の農業

1 移動労働班の出勤

4 供米の奨励と農産物の増産割当

2 政府による農山村救済策

2 共同炊事と共同保育

5 空襲の中の農作業と農民の心痛

3 経済更生計画の例

3 農業会への統合

第3節 昭和前期・戦時下の教育

第2編 現代

第1章 占領・戦後復興期の神埼地域〔昭和20年（1945）～昭和30年（1955）頃〕

第1節 占領・戦後復興期の政治と社会

第1項 占領・戦後復興期の政治と社会

- 1 敗戦の受け止め方
- 2 占領の開始
- 3 連合国軍の佐賀進駐
- 4 神埼地域への占領軍の出現
- 5 人々にとつての占領経験
- 6 選挙
- 7 供出・食料問題
- 8 保健衛生問題
- 9 二八水
- 第2項 地方財政改革と3町村の成立
- 1 戦後改革と地方自治、地方財政制度
- 2 地方財政の窮乏と再建
- 3 昭和の大合併
- 4 新市町村計画
- 5 脊振村の財政・村政
- 第2節 戦後復興期の産業経済
- 1 商工業
- 2 交通

第1項 昭和前期・戦時下の学校教育

- 1 昭和前期の教育
- 2 昭和初期の教育と生活

第2項 昭和前期・戦時下の社会教育

- 1 社会教育行政機構の整備
- 2 青年学校の設置と義務化

第3項 大倉邦彦の教育貢献

- 1 略伝
- 2 大倉精神文化研究所
- 3 農村工芸学院
- 4 地域教育への貢献
- 5 佐賀県立神埼農学校（現・佐賀県立神埼清明高等学校）への支援
- 6 佐賀県立春日山道場の講堂建設
- 7 大倉家、佐賀県及び神崎市出身者との交流

第3節 戦後復興期の農業（戦後自作農の誕生と農業改革の模索）

- 1 農地改革と自作農誕生
- 2 稲作生産力の停滞と頻発する風水害
- 3 農業多角化と農協の発足

第4節 戦後復興期の教育

第1項 戦後復興期の学校教育

- 1 戦後教育の発足と学校
- 2 六・三制の実施
- 3 新制中学校の発足
- 4 育友会・PTAの成立
- 5 新制高等学校の発足
- 6 教育委員会の公選制度と変遷

第2項 戦後復興期の社会教育

- 1 占領政策・戦後改革と教育委員会の設置
- 2 戦後改革と社会教育行政の再編
- 3 公民館の設置と整備
- 4 部落公民館（集落公民館）の建設
- 5 青年団の再生と青年学級の開始
- 6 婦人会の再編と婦人教育
- 7 PTAの始まりと活動
- 8 図書館・博物館の動き

第2章 高度経済成長期の神埼地域（昭和30年（1955）～昭和48年（1973）頃）

第1節 高度経済成長期の政治と社会

第1項 高度経済成長期の政治

- 1 神埼町
 - (1) 八谷彌吉 町長時代
 - (2) 第1次・第2次 古賀貞次 町長時代
 - (3) 古賀貞次 町長の逮捕と町政の混乱
 - (4) 田代武雄 町長時代
 - (5) 第3次 古賀貞次 町長時代
- 2 千代田村（町）
 - (1) 北島喜平 村長時代
 - (2) 八谷哲馬 村長時代
 - (3) 江頭政六 村長・町長時代
 - (4) 第1次・第2次 田中信一 町長時代
- 3 脊振村
 - (1) 第1次・第2次 内村葉村長時代
 - (2) 山崎熊夫 村長時代
 - (3) 第1次・第2次 永淵萬里 村長時代

第2項 高度経済成長期の財政 高度成長の始まり 大転換

1 歳出・歳入の特徴 2 千代田町 3 神埼町 3 脊振村

第2節 高度経済成長期の産業経済

1 商工業 2 水産業 3 交通・インフラ

第3節 高度経済成長期の農業 〔農業近代化の展開〕

1 農業基本法の制定と農業 2 近代的農業技術の研究開発と技術普及の展開

3 米価運動と新佐賀段階米づくり運動の展開と限界

第4節 城原川の治水

第5節 高度経済成長期の教育

第1項 高度経済成長期の学校教育

1 昭和の町村合併と町村立学校 2 学習指導要領の変遷（昭和27年から42年まで）

3 小学校教育 4 中学校教育 5 教科用図書

第2項 高度経済成長期の社会教育

1 市町村合併の影響 2 公民館活動 3 青年団活動の活性化

4 青少年健全育成とボーイスカウト活動の開始 5 婦人会と家庭教育学級

第3章 高度経済成長期後の神埼地域 〔昭和48年（1973）～平成18年（2006）頃〕

第1節 高度経済成長後の政治と社会

第1項 高度経済成長後の政治

1 神埼町

(1) 第4次・第5次 古賀貞次 町長時代 (2) 第1次 重松二紀 町長時代 (3) 荒木正巳 町長時代

(4) 第2次 重松二紀 町長時代 (5) 第1次・第2次・第3次 田原英征 町長時代

(6) 松本茂幸 町長時代

2 千代田町

(1) 第1・2・3次 内川茂雄 町長時代

(2) 腹巻萬平 町長時代

(3) 第1・2次 古賀寅夫 町長時代

(4) 重松紀之 町長時代

(5) 内川修治 町長時代

3 脊振村

(1) 第3・4・5次 永瀨萬里 村長時代

(2) 第1・2次 内村茂 村長時代

(3) 第1・2・3次 山口三喜男 村長時代

第2項 高度経済成長後の財政

1 産業基盤の整備・生活環境の整備・福祉政策の展開

2 三町村の財政

第3項 文化財保護の発展と指定文化財

第2節 高度経済成長期の産業経済

1 商工業

2 インフラ・交通

第3節 高度経済成長後の農業 〔水田利用再編と産地形成〕

1 稲作転換と集落営農集団の形成

2 農業環境悪化の中での農業再建の模索

3 産地づくり運動と地域づくり

第4節 高度経済成長後の教育

第1項 高度経済成長後の学校教育

1 「ゆとり教育」の導入

2 小学校の教育活動

3 中学校の教育活動

4 学校週休五日制の導入

5 不登校・いじめ等対策

6 教育機器、施設等の整備

7 PISAショック(OECD調査結果)

第2項 高度経済成長後の社会教育

1 生涯学習と公民館活動の発展

2 青年団活動の興隆と衰退

3 婦人会の役割と婦人活動の発展 ― 神埼町・千代田町・脊振村の婦人会活動

4 少年スポーツと社会体育活動の発展

第4章 神埼市の成立と現在〔平成18年(2006)〕

第1節 神埼市の政治と行財政

第1項 神埼市の政治動向

- 1 第1次 松本茂幸 市長時代
- 2 第2次 松本茂幸 市長時代
- 3 第3次 松本茂幸 市長時代
- 4 第4次 松本茂幸 市長時代

第2項 神埼市の政治・行政 ―いわゆる平成の市町村合併

- 1 平成の市町村合併の背景
- 2 平成の合併の法的推進
- 3 佐賀県下における市町村合併の機運の高まり
- 4 神埼郡内6町村による任意合併協議会の設置
- 5 神埼郡内6町村による法定合併協議会の設置
- 6 神埼郡6町村合併法定協議会における議論の動向
- 7 神埼郡6町村合併法定協議会における議論
- 8 三田川町の法定協議会の離脱
- 9 神埼郡6町村合併法定協議会の解散
- 10 6町村による合併協議の再開とその破綻
- 11 神埼町・千代田町・脊振村3町村による任意合併協議会の設立
- 12 神埼町・千代田町・脊振村3町村での法定合併協議会の設立
- 13 合併の方式
- 14 新市の名称
- 15 新市の事務所の位置について
- 16 地方議会議員の定数および任期の取り扱いについて
- 17 合併の期日について
- 18 合併の決定
- 19 合併に向けて
- 20 「神埼市」の誕生

第3項 神埼市の成立と財政

- 1 神埼市 合併前史
- 2 新市建設 合併の財政

第2節 神埼市の産業経済の現状

- 1 商工業
- 2 林業・水産業
- 3 インフラ整備・交通

第3節 新しい神埼市の農業 ―多様な担い手形成と新しい中山間地農業・クリーク農業―

- 1 食と農の基本法と新しい水田農業の担い手の形成
- 2 中山間地農業対策の取り組み

第4節

3 国営筑後川導水事業の展開と新しいクリーク農業
現在の神埼市の教育

第1項

現在の神埼市の学校教育

1 神埼市立小・中学校の誕生

2 暫定教育委員会

3 第7次「学習指導要領」の改訂

4 神埼市教育方針

5 教育相談事業

6 特別支援教育

7 小学校の教育

8 中学校の教育

9 部活動

10 学校施設等の整備

11 神埼市学校給食共同調理場

12 教育委員会制度の改正

13 神埼市の幼児教育

14 西九州大学の沿革

15 市内小中学校歴代校長一覧・児童生徒数

第2項

現在の神埼市の社会教育

1 合併直前の社会教育の状況

2 合併後の社会教育の展開

3 下村湖人と生家保存活動